

「なんとなく投資」が成果を遠ざける – 老後資金に不安を抱える40～50代の 投資事情

投資成果が順調な人ほど明確にしていた3つのこと

奥澤 智宏氏が代表を務める『どさんこ投資スクール』（所在地：北海道札幌市）は、40～50代の①投資をしている方／②投資を検討している方を対象に、「40～50代に聞いた投資で満足できる基準の境界線」に関する実態調査を実施しました。

インフレの時代、未来の資金への不安から投資を始める方が増えています。

NISAやiDeCoなど少額から始められ、運用益が非課税になる制度もあり、まとまったお金がない方にとっても身近な存在になりつつあります。

特に現在の40～50代はいわゆる「就職氷河期世代」と呼ばれ、思うように資産形成ができておらず、今まさに投資を学んで始める方が多くいるようです。

では、実際に投資をしている・検討している方は、投資で得る利益の満足基準をどのくらいに決めているのでしょうか。

そこで今回、『どさんこ投資スクール』（<https://wellness-toushi.jp/dosanko/>）は、40～50代の①投資をしている方／②投資を検討している方を対象に、「40～50代に聞いた投資で満足できる基準の境界線」に関する実態調査を実施しました。

調査概要：「40～50代に聞いた投資で満足できる基準の境界線」に関する実態調査

【調査期間】2025年12月24日（水）～2025年12月25日（木）

【調査方法】PRIZMA（<https://www.prizma-link.com/press>）によるインターネット調査

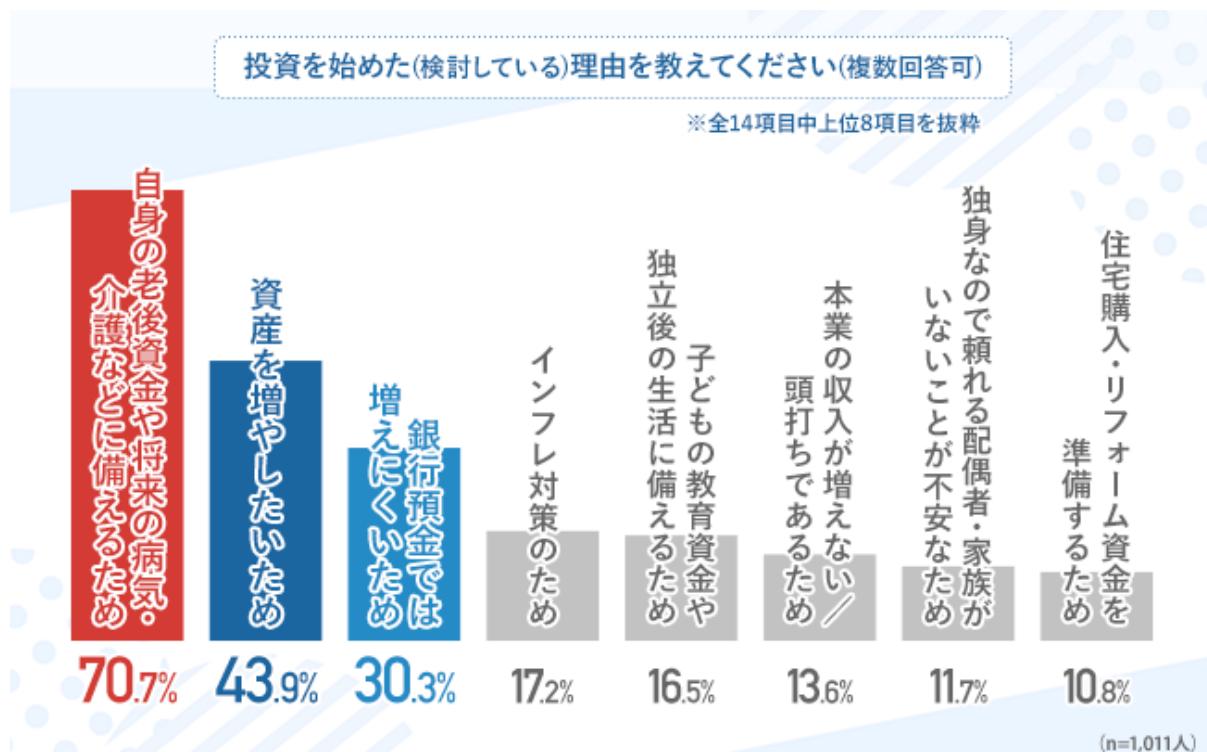
【調査人数】1,011人（①504人／②507人）

【調査対象】調査回答時に40～50代の①投資をしている／②投資を検討していると回答したモニター

【調査元】どさんこ投資スクール（<https://wellness-toushi.jp/dosanko/>）

【モニター提供元】PRIZMAリサーチ

■投資をする理由No.1は「老後資金や将来の病気・介護などに備えるため」投資ならではのメリットは?



《調査概要:「40~50代に聞いた投資で満足できる基準の境界線」に関する実態調査》

・調査期間:2025年12月24日(水)~2025年12月25日(木)・調査方法:インターネット調査・調査元:どさんこ投資スクール・モニター提供元:PRIZMAリサーチ
・調査対象:調査回答時に40~50代の①投資をしている/②投資を検討していると回答したモニター・調査人数:1,011人(①504人/②507人)

どさんこ
投資スクール

はじめに、「投資を始めた(検討している)理由」について質問したところ、『自身の老後資金や将来の病気・介護などに備えるため(70.7%)』と回答した方が最も多く、『資産を増やしたいため(43.9%)』『銀行預金では増えにくいため(30.3%)』と続きました。

7割を超える方が、自身の将来への備えとして投資を始めていることが明らかになりました。

将来の年金制度への懸念もあり、公的制度だけに頼らず自分で資産形成をするために投資を始めている方が多いと推測されます。

また、長期投資することによって、複利効果や頻繁な値動きに左右されなくなり精神的負担の軽減が見込まれるため、「すぐに使う資金」ではなく「将来への資金」といった目的で投資している方が多いことが考えられます。

では、数あるお金の増やし方の中から「投資」を選んだ理由にはどのようなものがあるのでしょうか。

他の方法でなく、投資でお金を増やそうと思ったのはなぜですか？(複数回答可)

現在投資しているもの(投資したいと思っているものはどれですか？(複数回答可)

※全12項目中上位7項目を抜粋

十分な貯金が
できていないから
41.3%

現職の給料では
不足しているから
31.9%

副業などをする
時間がとれないから
25.7%

余剰資金が増えたから
22.9%

副業などをする
スキルがないから
16.6%

話題になっているから
8.3%

その他
1.3%

NISA
62.2%

株式投資
49.1%

投資信託
34.5%

iDeCo(個人型確定拠出年金)
31.8%

保険商品
11.2%

外貨預金
11.0%

債券投資
10.5%

(n=1,011人)

《調査概要》「40～50代に聞いた投資で満足できる基準の境界線」に関する実態調査

・調査期間：2025年12月24日(水)～2025年12月25日(木)・調査方法：インターネット調査・調査元：どさんこ投資スクール・モニター提供元：PRIZMAリサーチ

どさんこ
投資スクール

「他の方法でなく、投資でお金を増やそうと思ったのはなぜか」と質問したところ、『十分な貯金ができていないから（41.3%）』と回答した方が最も多く、『現職の給料では不足しているから（31.9%）』『副業などをする時間がとれないから（25.7%）』と続きました。

十分な貯金ができていても少額から始めることができ、その後資産を雪だるま式に増やせる複利効果が期待できるため、他の方法ではなく投資を選んでいると考えられます。また、仕事において中堅・管理職層として責任が増したり、家庭での子育てや親の介護などの負担が多くなったりと、公私ともに忙しくなりがちな40～50代にとって、現職での昇給や副業を新たに開始するよりも少ない労力で始められることも、投資を選択した理由となっていることがわかります。

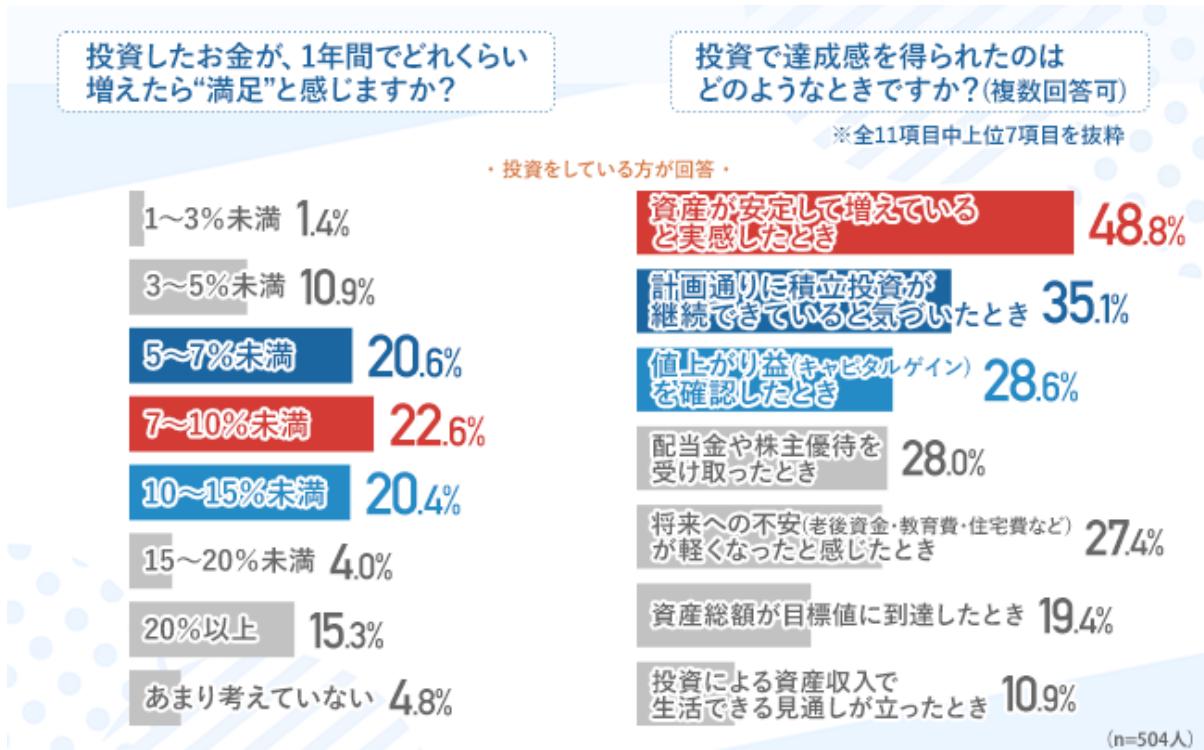
続いて、「現在投資しているもの（投資したいと思っているもの）はどれか」と質問したところ、『NISA（62.2%）』と回答した方が最も多く、『株式投資（49.1%）』『投資信託（34.5%）』と続きました。

6割以上の方が運用で得た利益や配当金にかかる税金が非課税になるNISAを、3割以上の方が掛金が所得控除され運用益も非課税になるiDeCoを利用もしくは検討しており、非課税制度の需要の高さが見て取れます。

また、投資先としては「株式投資」「投資信託」の割合も高く、「株式投資」は配当金や株主優待といった実感しやすいメリットが、「投資信託」は分散投資がしやすく、積立などで比較的手軽に始められる点がそれぞれ支持されていると考えられます。

■約半数が資産が安定して増えていると実感したときに達成感を得られると回答！

ここからは、実際に投資をしている方にうかがいます。



《調査概要:「40～50代に聞いた投資で満足できる基準の境界線」に関する実態調査》

・調査期間:2025年12月24日(水)～2025年12月25日(木)・調査方法:インターネット調査・調査元:どさんこ投資スクール・モニター提供元:PRIZMAリサーチ
・調査対象:調査回答時に40～50代の①投資をしている／②投資を検討していると回答したモニター・調査人数:1,011人(①504人／②507人)

どさんこ
投資スクール

「投資したお金が、1年間でどれくらい増えたら“満足”と感じるか」と質問したところ、『7～10%未満（22.6%）』と回答した方が最も多く、『5～7%未満（20.6%）』『10～15%未満（20.4%）』と続きました。

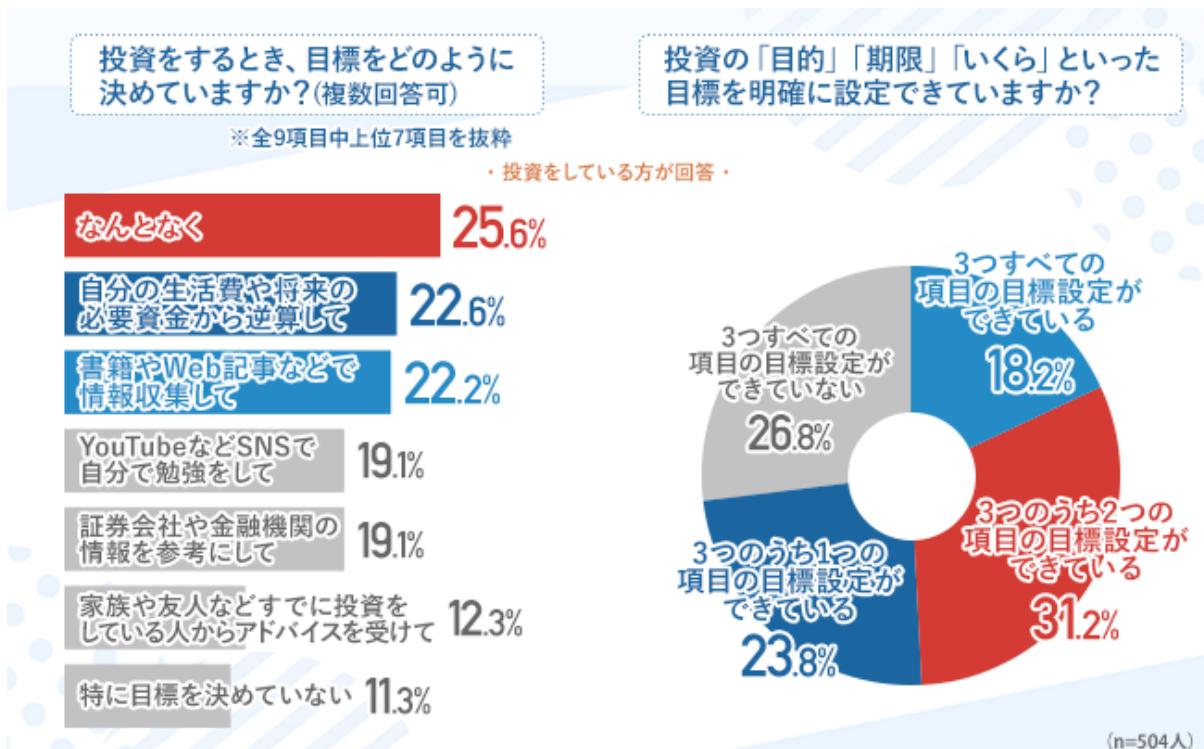
半数以上の方が、年利の平均と言われる3～10%未満で満足を感じているようです。一方で、約4割の方が10%以上の高い年利で満足と感じると回答しており、比較的高いリターンを期待して投資に取り組んでいる方も一定数いることがわかります。

続いて、「投資で達成感を得られたのはどのようなときか」と質問したところ、『資産が安定して増えていると実感したとき（48.8%）』と回答した方が最も多く、『計画通りに積立投資が継続できていると気づいたとき（35.1%）』『値上がり益（キャピタルゲイン）を確認したとき（28.6%）』と続きました。

進捗や成果を数字として確認することで達成感を得る方が多いことが明らかになりました。自分で立てた計画に対して順調に進んでいたり、自身の判断が正解だったと認識できたりするときに達成感を得られ、投資に対するモチベーションも保てると考えられます。投資における達成感は、あらかじめ設定した目標や基準があることで、より実感しやすくなると言えるでしょう。

■明確な目標を設定している方ほど投資は「順調」と実感！目標未設定の方とは大きな差に…

では、投資の際の目標についてどのように考えているのでしょうか。



《調査概要：「40～50代に聞いた投資で満足できる基準の境界線」に関する実態調査》
・調査期間：2025年12月24日(水)～2025年12月25日(木)・調査方法：インターネット調査・調査元：どさんこ投資スクール・モニター提供元：PRIZMARIサーチ
・調査対象：調査回答時に40～50代の①投資をしている／②投資を検討していると回答したモニター・調査人数：1,011人(①504人／②507人)

どさんこ
投資スクール

「投資をするとき、目標をどのように決めているか」と質問したところ、『なんとなく（25.6%）』と回答した方が最も多く、『自分の生活費や将来の必要資金から逆算して（22.6%）』『書籍やWeb記事などで情報収集して（22.2%）』と続きました。

目標設定を『なんとなく』している方と『目標を決めていない』方が合わせて4割近くとなり、「目標をどのように決めるか」という手段については特にこだわっていない方が多いことが明らかになりました。

投資に対する知識が不十分であったり、目標設定の重要性の理解が不足していたりすると、なんとなくで設定てしまいがちだと言えるでしょう。

一方で、必要資金から逆算したり、自ら情報収集や勉強をしたりして目標設定をしている方も多くいることから、人によって投資に対する取り組み方に差があることがうかがえます。

続いて、「投資の『目的』『期限』『いくら』といった目標を明確に設定できているか」と質問したところ、下記のような回答となりました。

『3つすべての項目の目標設定ができている（18.2%）』
『3つのうち2つの項目の目標設定ができている（31.2%）』
『3つのうち1つの項目の目標設定ができている（23.8%）』
『3つすべての項目の目標設定ができていない（26.8%）』

7割以上の方が、少なくとも1つ以上の項目について目標を設定している一方で、「目的・期限・金額」の3つすべてを明確に設定できている方は2割未満にとどまりました。

また、3つすべての項目について目標設定ができていない方も2割以上存在しており、投資を始めてはいるものの、十分な目標設定ができていない層が一定数いることが明らかになりました。

投資を始めても、「何のために、いつまでに、いくらを目指すのか」といった全体設計まで落とし込めていない方が多いことがうかがえます。

また、全体として「モチベーションが下がってしまうことがあるか」「市場の変動に振り回されて誤った判断をしてしまうことがあるか」と質問したところ、どちらの質問にも半数以上の方が『非常にある』または『どちらかといえばある』と回答しました。
明確な目標がないことで、市場が低迷した際に不安になったりモチベーションを維持するのが難しくなったりすることが考えられます。

では、目標を明確に設定しておくことには、投資をするにあたってどのようなメリットがあるのでしょうか。

「投資を順調に進められている実感があるか」と質問したところ、下記のような回答となりました。

■ 「3つすべての項目の目標設定ができている」と回答した方
『非常にある（51.1%）』
『どちらかといえばある（45.7%）』
『どちらかといえばない（3.2%）』
『全くない（0.0%）』

■ 「3つすべての項目の目標設定ができていない」と回答した方
『非常にある（8.9%）』
『どちらかといえばある（55.6%）』
『どちらかといえばない（29.6%）』
『全くない（5.9%）』

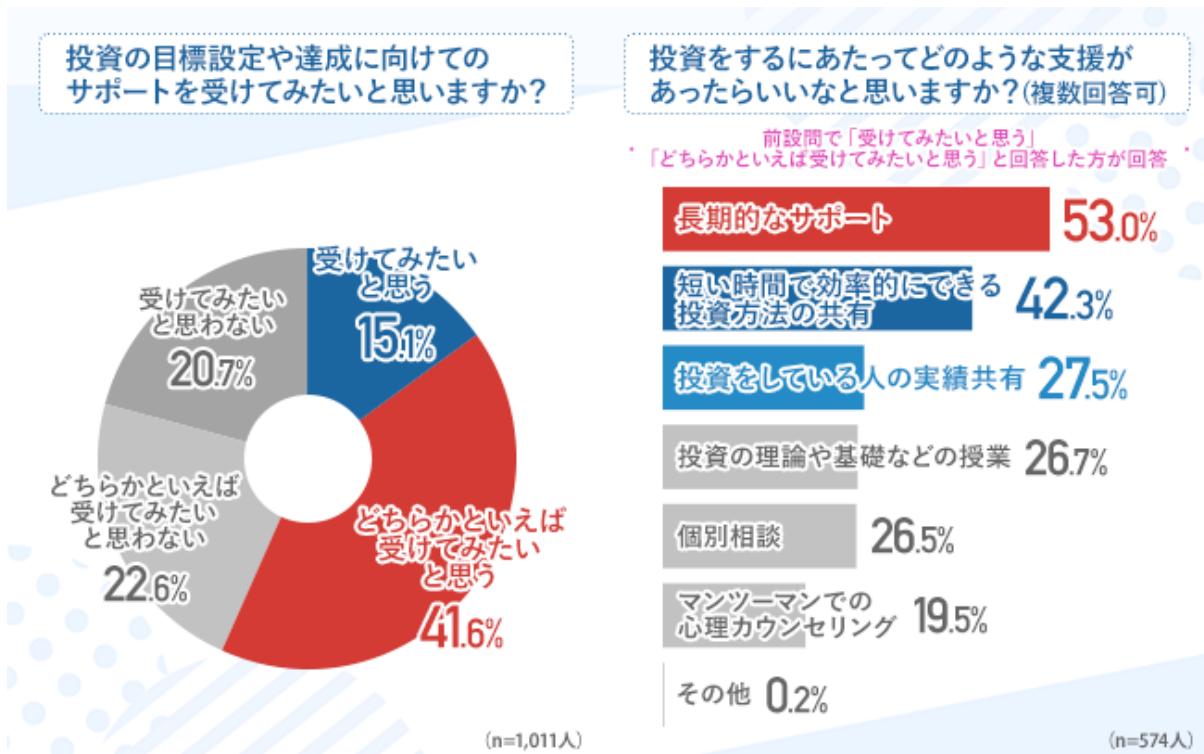
『非常にある』『どちらかといえばある』と回答した方の割合を目標設定の有無で比較した結果、「目的・期限・金額」の3つすべてで目標設定ができている方では9割を超えておりに対し、3つすべての項目で目標設定ができていない方では約6割にとどまり、大きく差が出る結果となりました。

この結果から、投資の目標を明確に設定することが投資を順調に進められている実感の高さに大きく影響することが明らかになりました。

目標を明確に決めることで、進捗や成果を実感しやすく、一貫した軸で判断し市場の変動などに振り回されすぎずに安定して投資を続けることができるのではないでしょうか。

■約6割が「投資の目標設定や達成に向けてのサポートを受けてみたい」と回答。目標設定が鍵となる投資に必要なサポートとは？

ここからは全員にうかがいます。



「投資の目標設定や達成に向けてのサポートを受けてみたいと思うか」と質問したところ、下記のような回答となりました。

『受けたみたいと思う（15.1%）』

『どちらかといえば受けたみたいと思う（41.6%）』

『どちらかといえば受けたみたいと思わない（22.6%）』

『受けたみたいと思わない（20.7%）』

目標設定や達成に向けたサポートを受けてみたいと考える方が多い結果となりました。

投資の目標設定について「なんとなく」決めている方や「目標を決めていない」方が約4割を占めたことからもわかるとおり、目標の設定方法についての知識が不十分であることが考えられます。

また、肝心な目標達成までの道筋も含め、サポートを受けることで現状よりも良い成果につながる投資を行いたいと考える方が多いことがうかがえます。

最後に、前の質問で『受けたみたいと思う』『どちらかといえば受けたみたいと思う』と回答した方に、「投資をするにあたってどのような支援があつたらいいなと思うか」と質問したところ、『長期的なサポート（53.0%）』と回答した方が最も多く、『短い時間で効率的にできる投資方法の共有（42.3%）』『投資をしている人の実績共有（27.5%）』と続きました。

半数以上の方が長期的なサポートを希望しているという結果になりました。

また、将来への不安や資産形成への関心が高まる40～50代において、効率よく成果を実感できる投資のやり方について知りたい方も多いことがわかります。

■40～50代の投資に見た、達成感を生む「明確な目標設定」の重要性

今回の調査で、40～50代の多くが老後資金や将来への不安を背景に投資を始めており、投資をするにあたっては明確な目標設定が重要であることが明らかになりました。

40～50代は、将来への備えとして投資に取り組む一方で、比較的高い成果を期待している層も一定数存在していることが示されました。

また、投資で達成感を得られるタイミングとして多く挙げられたのは、「資産が安定して増えていると実感したとき」や「計画通りに積立投資を継続できていると気づいたとき」でした。

これらはいずれも、あらかじめ立てた目標や基準があるからこそ実感できるものであり、投資において“成果を感じられる軸”を持つことの重要性を示しています。

一方で、目標設定の実態を見ると、「なんとなく」設定している方や「目標を決めていない」方が4割近くを占めており、投資への向き合い方には大きなばらつきがあることも明らかになりました。

実際に「目的・期限・金額」の3つすべてを明確に設定できている方は2割未満にとどまっており、目標設定の重要性が十分に浸透しているとは言えない状況です。

しかし、「投資を順調に進められている実感があるか」という問い合わせでは、明確な目標設定ができている方ほど「順調」と感じている割合が高く、そうでない方との差は3割以上に広がりました。

この結果から、目標を明確にすることが、投資の継続性や納得感、ひいては安定した判断につながっていることが考えられます。

さらに、約6割が投資の目標設定や達成に向けたサポートを「受けてみたい」と回答しており、自己流だけでなく、第三者の視点や継続的な支援を求めている様子もうかがえました。

投資を取り巻く情報やサービスが溢れる今だからこそ、重要なのは「何を選ぶか」以上に、「自分は何のために、どこを目指して投資をするのか」を明確にすることではないでしょうか。

自分自身の目的や状況に合った投資の軸を持つことが、将来への不安と向き合いながら、納得感のある資産形成を続けていく第一歩になると考えられます。

【どさんこ投資スクールが選ばれる理由】

<個別指導レベルの万全なサポート>

どさんこ投資スクールが選ばれる最大の理由は何と言っても個別指導レベルの万全なサポートです。

講師が生徒さん一人一人のトレードをチェックします。

メールでのサポートはもちろん、レッスン日以外に質問できる日程も開設しています。

大人数や動画配信だけで学ぶ投資スクールでは不可能な万全のサポート体制がどさんこ投資スクールの最大の強みです。

<講師は「伝えるプロ」です>

どさんこ投資スクールの講師は大手電機メーカー在籍中にプレゼンテーションの研修を多数受講し、発表の場を多数経験してきた、言わば、伝えるプロです。

難しいことも相手に分かりやすく伝えるトレーニングを受けてきたので、質の高いレッスンを受講できます。

<講師が認定テクニカルアナリストの資格を保有>

講師は日本唯一のテクニカル分析の資格であるテクニカルアナリストを取得し、本物のトレードの知識をお伝えできます。

<「メンタルコントロール」を指導できる投資スクール>

投資で継続的に勝ち続けるには以下の3つの要素が必要です。

1. トレード手法
2. 資金管理
3. メンタルコントロール

メンタルコントロールができないと、トレード手法や資金管理のルールが守れない為、どさんこ投資スクールではメンタルコントロールを中心に指導しています。

<「生徒を全員勝たせたい」という講師の熱い思いが伝わる教室>

どさんこ投資スクールが1番大切にしているのは「生徒を全員勝たせたい」という気持ちです。

この気持ちが、カリキュラムの改善やソフトの開発に繋がっています。

【投資スクール講師 奥澤智宏（おくざわともひろ）】



アウトプット型学習で、初心者でも無理なく投資スキルを習得。

心理学の資格を取得している事もあり「教育心理学」をレッスンに取り入れている投資アナリスト。難しい投資の専門用語も初心者にも分かるように、簡単な言葉で解説し、在校生からのサポート体制に関する評価も高い。

<経歴>

1976年 富山県で生まれ、幼少期は大阪府で過ごす

1992年 東海高校に入学 名古屋にて3年間初めて1人暮らしを経験

1995年 東北大学工学部入学

1999年 東北大学大学院前期博士課程 推薦入学

2001年 パナソニック株式会社に研究開発職として入社

2006年 社内最速で主事に昇進

2014年 独立、大阪FX教室を設立し、1,500人以上の個人投資家を育成

2024年 総合投資スクールとしてウェルネス総合投資アカデミーに教室名変更

2026年 北海道移住を機にどさんこ投資スクールに教室名変更

<実績>

第1回 資産運用EXPO関西 登壇

第2回 資産運用EXPO関西 登壇

FXDD主催 FXトレードコンテストで4年連続上位10位以内入賞

FXDD主催 FXトレードコンテストで受講生3名が優勝実績有

裁量取引きに追加して、FX自動売買ソフトを開発

■どさんこ投資スクール：<https://wellness-toushi.jp/dosanko/>

■お問い合わせ：<https://wellness-toushi.jp/contact/>

■TEL：080-3858-0738（受付時間：10:00～20:00）

■無料オンラインセミナー申込：<https://utg.wellness-toushi.jp/p/pressrelease>